Yamano Holdings

2027年3月期 第2四半期
決算説明資料

2026年11月26日

株式会社ヤマノホールディングス
（東証スタンダード　7571）

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

Yamano Holdings

目 次

I. 2027年3月期 上期総括

II. 2027年3月期 上期決算概要

III. 通期業績予想と今後の成長戦略

IV. Appendix

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

Yamano Holdings

目 次

I. 2027年3月期 上期総括

II. 2027年3月期 上期決算概要

III. 通期業績予想と今後の成長戦略

IV. Appendix

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

2027年3月期 上期総括

Yamano Holdings

■教育・リユースの利益貢献が拡大、M&Aの成果と次の成長投資が進展

連結は増収・EBITDA増加。営業利益は前年の一過性増益効果の反動で減益

連結業績

売上高	EBITDA	営業利益
7,296 百万円	190 百万円	78 百万円
（前年同期比 +1.9%）	（前年同期比 +3.0%）	（前年同期比 △22.6%）

事業別ハイライト

ニューバリュー 利益貢献の拡大

セグメント利益

13 ➡ 104 百万円

- 教育既存3社が増益
- リユース事業も黒字転換

コアバリュー 主力事業の改善

主力・和装宝飾

粗利益率 改善 +0.9pt

- 店舗構成の最適化を推進
- 前年の一過性増益の反動で減益

M&A進展

前期取得3社	2026年10月	2026年12月（予定）
M&A成果が本格化	㈱じゃぱんはあと	アイラッシュ事業譲受
教育・リユースの成長を牽引	グループイン、和装の集客力強化	美容のサービス領域の拡充へ

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

Yamano Holdings

目 次

I. 2027年3月期 上期総括

II. 2027年3月期 上期決算概要

III. 通期業績予想と今後の成長戦略

IV. Appendix

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

2027年3月期 上期業績サマリー

Yamano Holdings

■ 前期取得3社の寄与が拡大し、**売上高は1.9%増、EBITDAも3.0%増**
■ 和装宝飾の前年の一過性増益効果の反動を主因に、営業利益は減益

（単位百万円）	2026/3上期（実績）	2027/3上期（実績）	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	7,161	7,296	＋134	＋1.9%
EBITDA	184	190	＋5	＋3.0%
（EBITDAマージン）	（2.6%）	（2.6%）	（+0.0pt）	
営業利益	100	78	△22	△22.6%
（利益率）	（1.4%）	（1.1%）	（△0.3pt）	
経常利益	69	55	△13	△19.6%
（利益率）	（1.0%）	（0.8%）	（△0.2pt）	
中間純利益	13	△13	△26	－
（利益率）	（0.2%）	（△0.2%）	（△0.4pt）	

※ EBITDAは営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）の合計額。
※金額は百万円未満切捨て。増減額・率は切捨て前の数値で算出。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

前年の一過性要因を調整した利益比較

■ 公表実績では営業減益も、前年の一過性要因を調整した参考比較では利益が改善

公表実績

(単位:百万円)	2026/3上期実績	2027/3上期実績	前年差
EBITDA	184	190	＋5
営業利益	100	78	△22

前年上期の調整対象		
	• 和装宝飾の納品サイクル早期化による利益押し上げ	＋207百万円
	• M&A取得関連費用(前年1Qに全額発生)	△67百万円

前年調整後(参考比較)

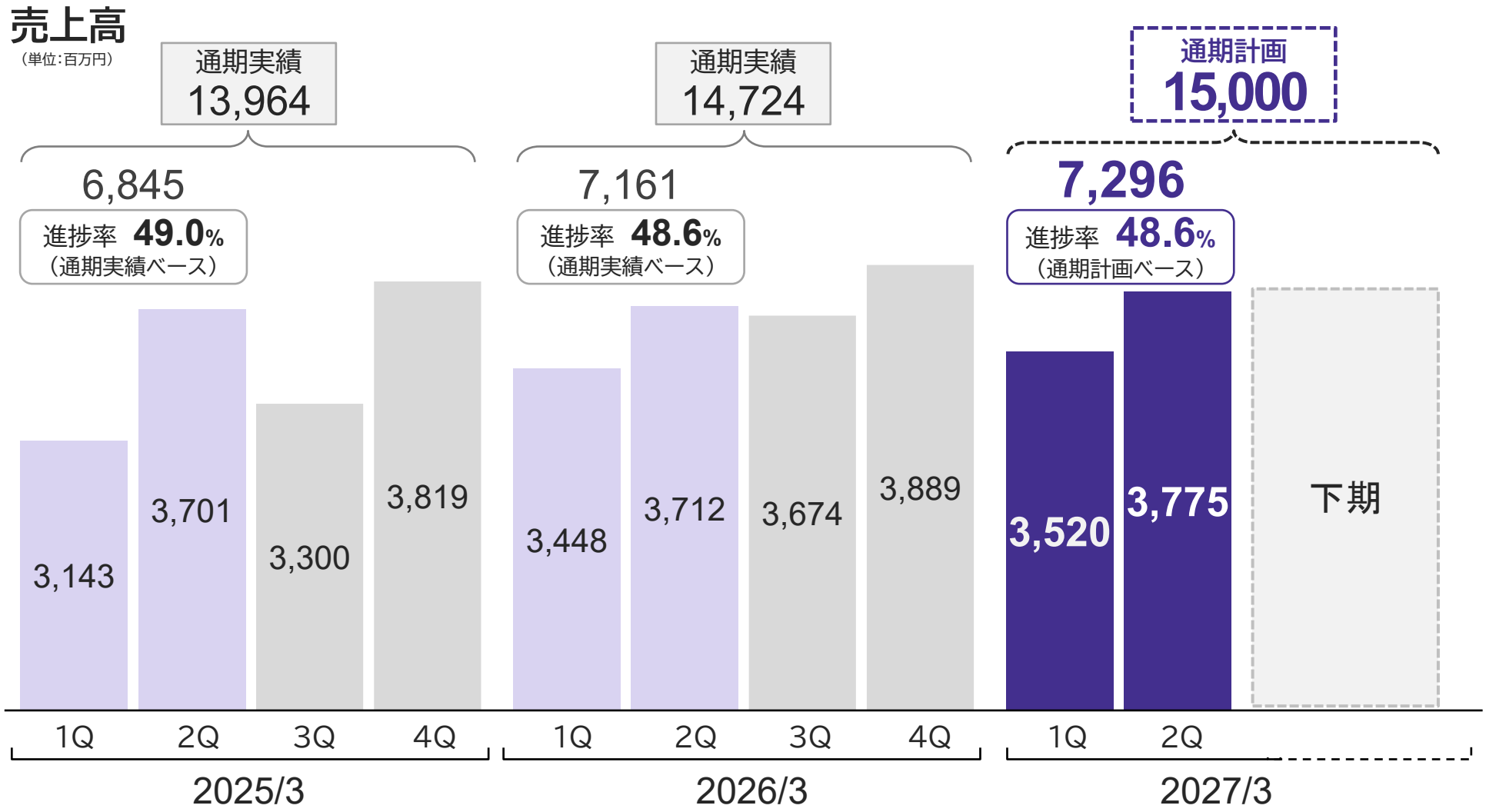
(単位:百万円)	2026/3上期調整後	2027/3上期実績	前年差
EBITDA	**44**	190	**＋146**
営業利益	**△40**	78	**＋118**

※前年上期実績から一過性利益207百万円を控除し、M&A取得関連費用67百万円を加算

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

売上高推移および通期進捗率

■ 1Q・2Qとも前年同期比増収、上期売上高は**7,296百万円**と**3期連続増収**
■ 通期売上高**150億円**を計画、上期進捗率は**48.6%**と前期実績ベースと**同水準**



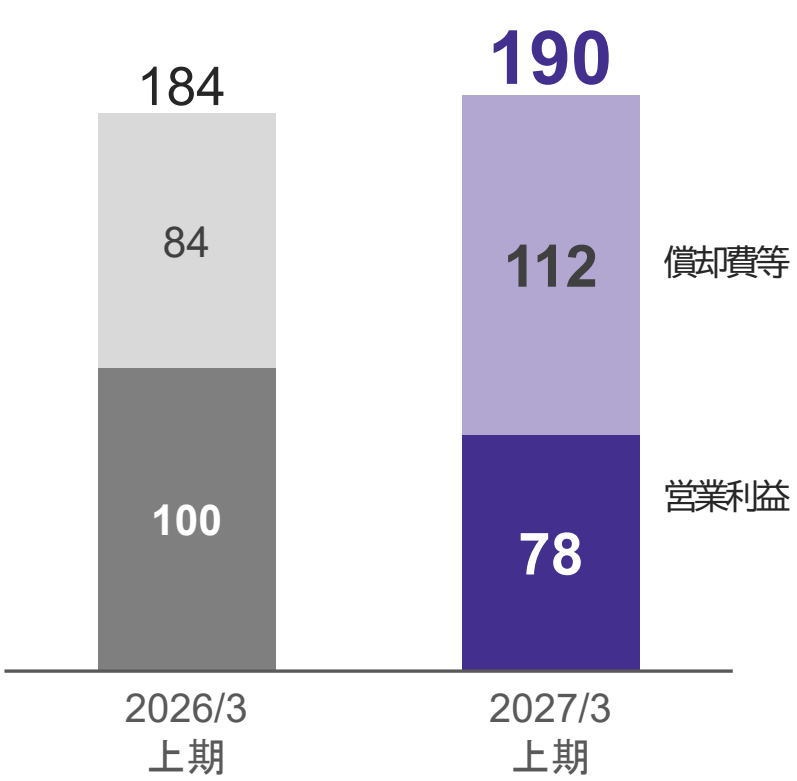
©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

EBITDA・営業利益 増減要因

■ 営業利益は減益も、償却費等の増加によりEBITDAは前年同期を上回る
■ ニューバリューと連結調整等のプラス寄与が、コアバリューの減益を一部相殺

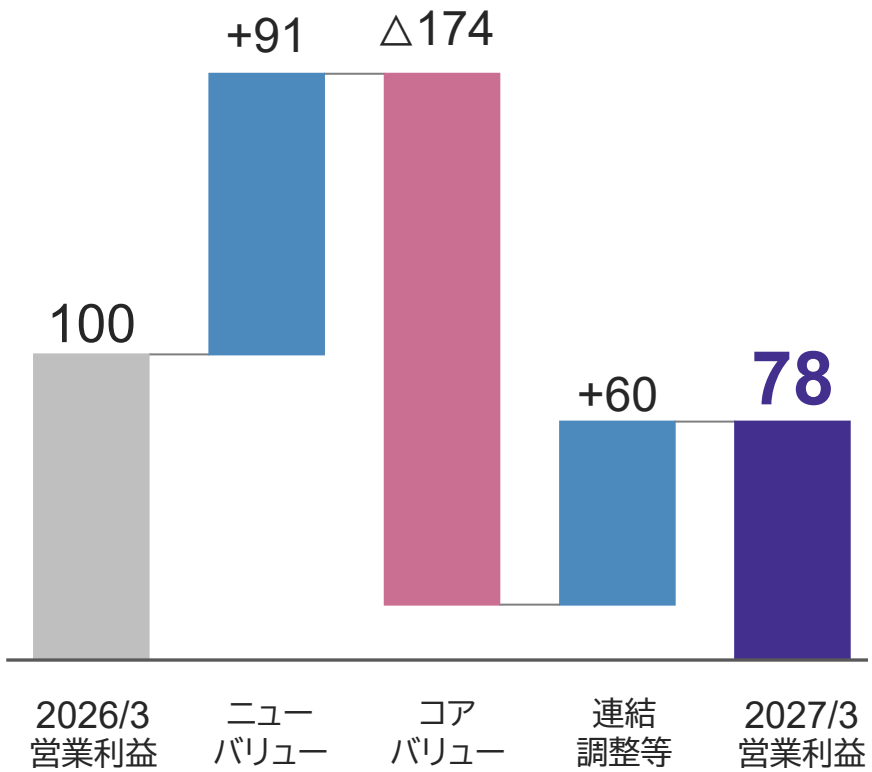
EBITDA 構成比較

（百万円）



営業利益　増減要因

（百万円）

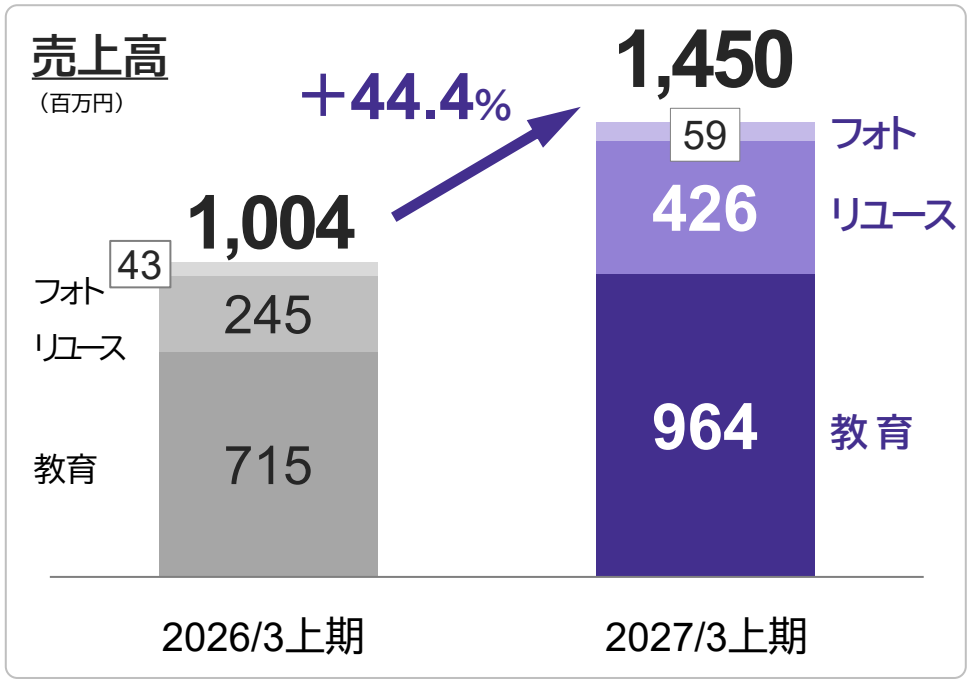


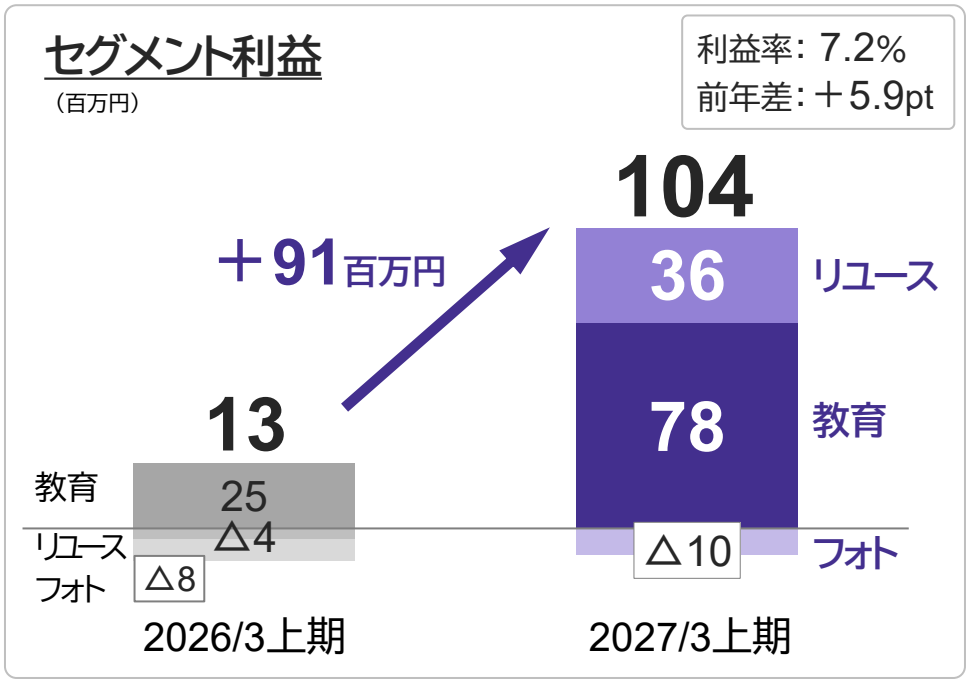
※端数処理により合計に差異があります。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

セグメント別概況(ニューバリュー)

■ 教育・リユースが成長を牽引し、売上高は**44.4%増、セグメント利益は104百万円に拡大**





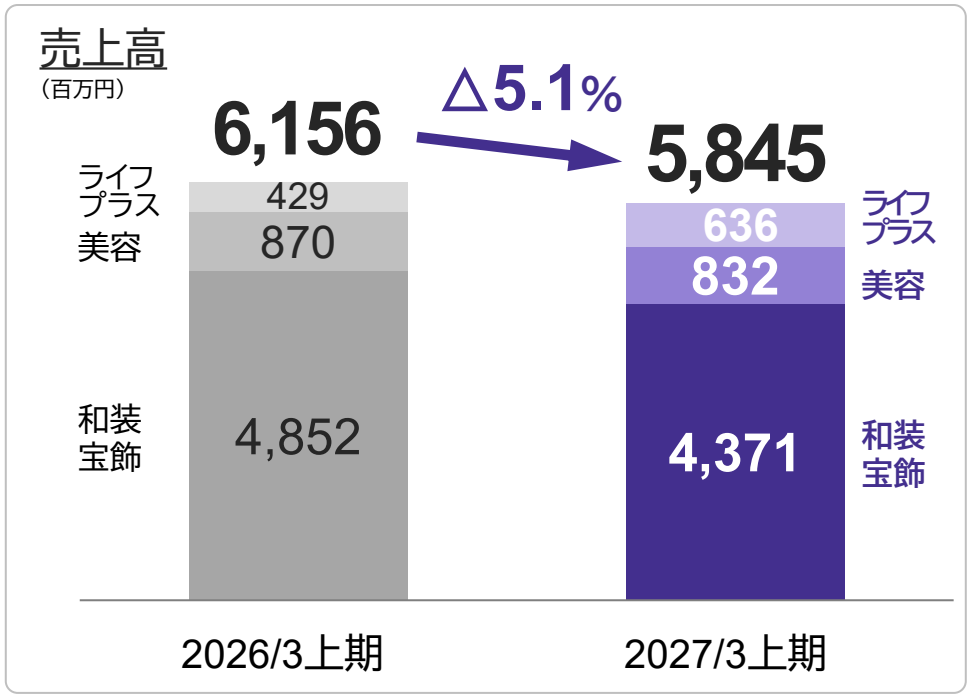
教 育	売上 964／利益 78	• 既存3社すべて増益。在籍生徒数増や夏期講習好調などが寄与 • アークネットが業績に寄与、学童保育も利益を確保
リユース	売上 426／利益 36	• ニューヨークジョーエクスチェンジが国内・訪日客需要を捉え、増収増益に貢献 • OLD FLIPはBtoB・EC販路の拡充により収益性が向上
フォト	売上 59／利益 △10	• 薬師スタジオの連結対象期間拡大により増収 • 下期の需要期に向け、集客・サービス強化と収益性改善を推進

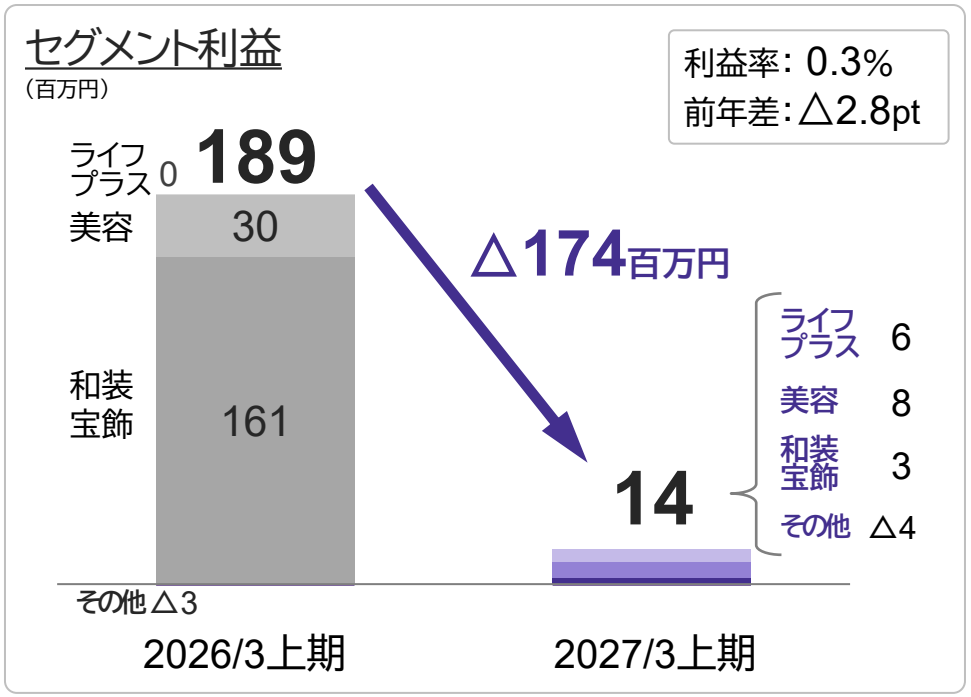
※ 各数値は表示単位未満を処理して表示。のれん償却費は連結調整額に計上。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

セグメント別概況(コアバリュー)

■ 前年の一過性増益効果の反動で減益も、和装宝飾は減収下で**粗利益率が0.9pt改善**





和装宝飾	売上 4,371／利益 3	• 店舗数は前年同期比3店減も、店舗当たり売上高は前年水準を維持 • 粗利益率は0.9pt改善、前年の一過性増益約200百万円の反動
美 容	売上 832／利益 8	• 台風・大雨等で週末の来店が伸び悩み、減収減益 • 不採算店舗の見直し、再来店促進と店舗運営効率化を継続
ライフプラス	売上 636／利益 6	• 販路拡大の取り組みが成果につながり、売上高は大幅増 • 運営体制の見直しとコスト管理の強化等で損益も改善

※金額は表示単位未満を処理。売上高の「その他」は内訳のみ省略。のれん償却費は連結調整額に計上。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

財務状態の概要

■ 現金及び預金25.8億円を確保しつつ、有利子負債は前期末比約0.8億円減少
■ 資産・負債とも前期末から減少、**自己資本比率は17.7%と前期末水準を維持**

連結貸借対照表サマリー

（百万円）

	2026/3末	2026/9末	増減
流動資産	6,180	6,019	△161
現金及び預金	2,841	2,584	△257
棚卸資産	1,138	1,190	＋51
固定資産	2,232	2,054	△178
無形固定資産	775	692	△82
資産合計	8,413	8,074	△339
有利子負債※	3,205	3,125	△79
負債合計	6,920	6,647	△273
純資産	1,492	1,426	△66
自己資本比率	17.7%	17.7%	△0.1pt

※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計

財務状態のポイント

資産 一定の手元流動性を維持

・現金及び預金は前期末比2.6億円減少も、25.8億円を確保
・棚卸資産は前期末比0.5億円増加
・無形固定資産は、のれんの減少等により0.8億円減少

負債 有利子負債は前期末から減少

・有利子負債は前期末比約0.8億円減少の31.3億円
・買掛金、電子記録債務、前受金等が減少
・借入水準と返済余力を継続的に管理

財務基盤 成長投資と財務基盤の強化

・中間純損失の計上と配当等により、純資産は減少
・自己資本比率は前期末とほぼ同水準の17.7%
・収益力の向上と財務規律の両立を継続

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

連結キャッシュフロー

■ 運転資金の変動や借入返済等により資金は減少、**上期末残高は約21億円**

営業CFは和装の仕入債務減少が影響、通期は仕入・支払いの平準化を見込む

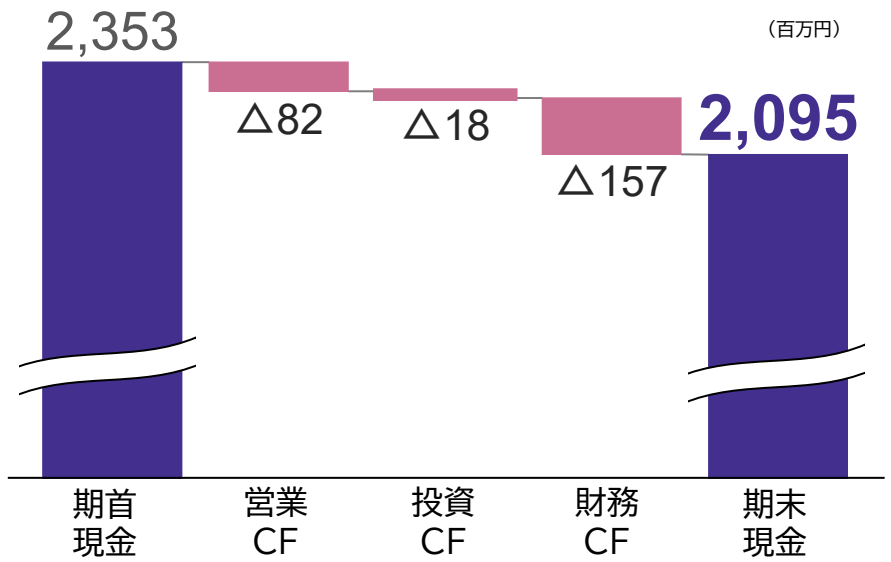
連結キャッシュフローサマリー

（百万円）

	2026/3上期	2027/3上期	増減
営業キャッシュフロー	**46**	**△82**	**△128**
投資キャッシュフロー	△77	△18	＋58
フリーキャッシュフロー※	**△31**	**△101**	**△70**
財務キャッシュフロー	286	△157	△443
現金及び現金同等物の増減額	255	△257	△513
現金及び現金同等物の期首残高	1,950	2,353	＋403
現金及び現金同等物の期末残高	**2,205**	**2,095**	**△110**

※フリーキャッシュフロー＝営業CF＋投資CF。端数処理による差異あり。

現金及び現金同等物の増減



キャッシュフローのポイント

- 営業CF：仕入債務・前受金の減少等によりマイナス
- 投資CF：前年のM&A取得支出がなく、支出額は縮小
- 財務CF：長期借入200百万円、約定返済249百万円等

参考：上期末後の資金調達（11/13公表）
長期運転資金200百万円の借入予定（11/30実行予定）

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

目 次

I. 2027年3月期 上期総括
II. 2027年3月期 上期決算概要
III. 通期業績予想と今後の成長戦略
IV. Appendix

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

2027年3月期 通期業績予想

■ 2026年5月15日に公表した通期業績予想から変更はございません。

- ニューバリュー ：教育・リユースの利益貢献拡大、フォトの需要期に向けた収益改善
- コアバリュー：和装宝飾・美容の収益改善、ライフプラスの販路拡大を継続

（単位：百万円）

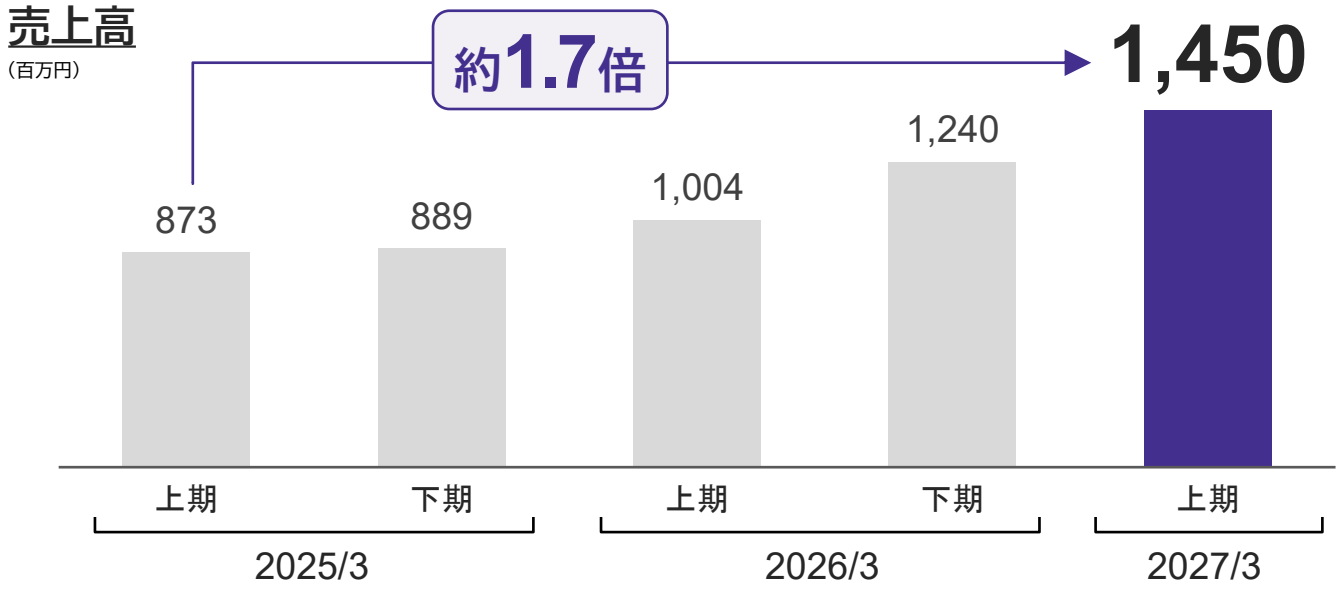
	2026年3月期（実績）	2027年3月期（予想）	増減額	増減比（%）
売上高	14,724	15,000	＋276	+1.9
EBITDA※	593	528	△65	△10.8
EBITDAマージン	4.0%	3.5%	△0.5pt	－
営業利益	411	312	△99	△24.2
経常利益	360	250	△110	△30.7
当期純利益	207	128	△79	△38.4
EPS（円）	5.96円	3.67円	△2.29	－
1株配当（円）	1.5円	1.5円	－	－

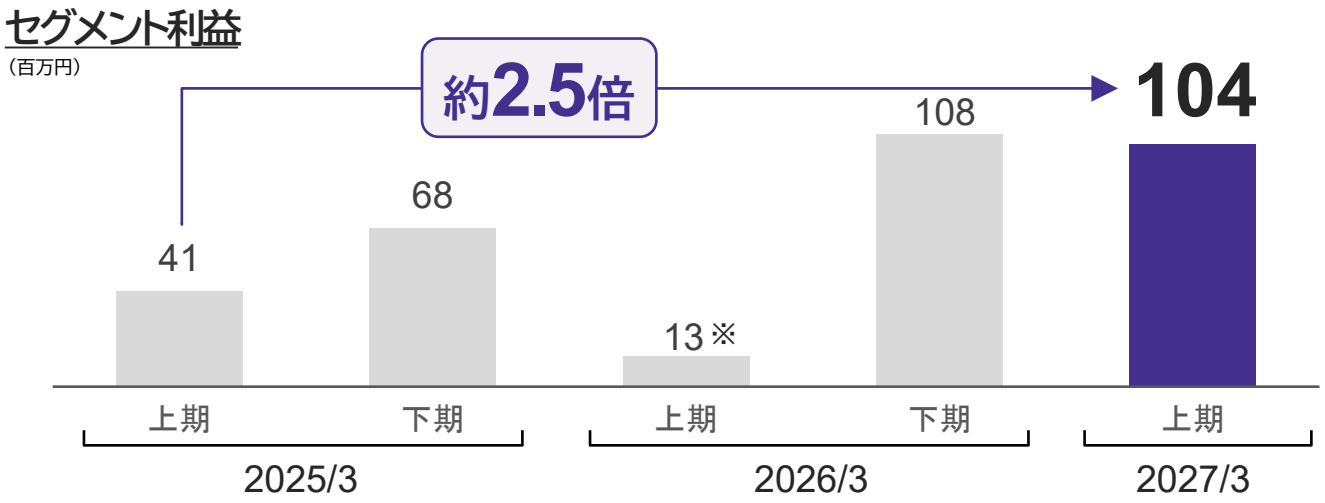
※ EBITDAは営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費含む）の合計額

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

ニューバリュー｜成長投資の成果が顕在化

■ 前期取得3社の連結寄与が今期本格化し、**事業規模・収益基盤が一段と拡充**





- 取得した3社が期初から寄与
- 事業規模の拡大と収益性の向上を両立

セグメント利益率 **7.2%**
（2年前同半期比＋2.5pt）

※2026/3期上期は教育の人財投資やPMI先行費用等が影響

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

じゃぱんはあと M&A ①｜事業特性

（2026年9月公表資料を一部編集・再掲）

Yamano Holdings

2026年10月1日
グループイン

- 東京・銀座で着物専門店「銀座きものティロワール」を運営
- SNSを活用した新規顧客獲得とリユース商品の販売が強み

SNSを起点に、新たな顧客接点を創出する画期的なモデル



週5本以上を継続配信

着物の基礎/商品情報/
コーディネート/催事情報

01 情報発信
YouTube・Instagram

02 理解・安心
初心者にも分かりやすく

03 顧客獲得
新たな顧客層を開拓

04 来店・購買・会員化
継続接点の形成・強化

顧客獲得モデルの主要指標

顧客獲得の実態 ※1

新規顧客比率
約40%

売上への成果 ※2

YouTube開始前比
月平均売上高
約2.3倍

※1 新規顧客比率は直近3年間の初回購入顧客割合（対象会社管理データ）
※2 YouTube開始前9ヶ月と開始後36ヶ月の月平均売上高を比較（対象会社管理データ）

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

それぞれの事業を進化させながら、双方の強みを掛け合わせる

「じゃぱんはあと」の顧客獲得力と、ヤマノの事業基盤を相互に活用

じゃぱんはあと
新規顧客獲得モデル
SNS集客・リユース・初心者接点

相互活用

ヤマノの和装事業
事業基盤
商品・販売・仕入・店舗運営力

ヤマノの事業基盤を活用し
じゃぱんはあとの成長余地を拡大

じゃぱんはあとの顧客獲得力を活用し
既存和装事業の進化を推進

双方の強みが交わる領域

新たな和装ビジネスモデルの創出

顧客獲得力と事業基盤を掛け合わせ、和装事業全体の成長力を高める

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

アイラッシュ事業譲受け① ｜事業概要

2026年12月1日
事業譲受け予定

- 東京都内4店舗の「Lolly eye」事業を譲受け、アイラッシュ領域へ参入
- コアバリューの美容事業におけるサービス領域の拡充を図る

譲受け対象事業の概要



Lolly eye 原宿店（店内）

➢ **全4店舗が最寄り駅から徒歩3分以内に立地**

Lolly eye®

譲渡会社	株式会社 i－rie
店舗数	4店舗 （東京都内）
店舗エリア	新宿・原宿・吉祥寺・北千住



主なサービス内容

- **まつ毛パーマ**
- **まつ毛エクステ**

参入市場規模

アイビューティーサロン市場 **1,323億円** （2026年・年間市場規模推計）

※出典：㈱リクルートホットペッパービューティーアカデミー「美容センサス2026年上期」

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

アイラッシュ事業譲受け② ｜事業特性

■ 業務委託型の店舗運営を核に、顧客利便性と施術の効率性を追求
■ 駅近立地・予約媒体・料金体系・施術体制を組み合わせた店舗運営モデル

店舗運営の中核

施術者全員が
業務委託
契約に基づく施術体制

報酬 売上連動型の報酬体系

採用 経験者中心の人財採用

顧客向けサービスの特徴



顧客接点

主要駅近隣の好立地
予約媒体・SNS等を活用



料金・メニュー

分かりやすい料金体系
リペア等のメニューを用意



施術・接客

短時間施術を重視
経験豊富な施術者が対応

▶ 顧客の利用しやすさと、柔軟な店舗運営体制の両立を図る

※料金・メニュー・施術内容は、店舗・時期により異なる場合あり

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

アイラッシュ事業譲受け③ ｜価値創造

Yamano Holdings

■ アイラッシュ事業基盤と業務委託型の運営ノウハウを取り込む

取得価値① アイラッシュ事業への参入

既存美容事業
ヘアサロン
ネイル・手足ケア
既存のサービス基盤

＋

譲受け対象
Lolly eye
アイラッシュ 4店舗

→

グループの提供領域
美容サービス領域の拡充
ヘア／ネイル／アイラッシュ

取得価値② 店舗運営ノウハウ

売上連動型報酬・施術オペレーション
業務委託方式の運営モデル

→

既存美容事業への応用可能性
各ブランドの特性を踏まえ、適合性を検証

コアバリュー美容事業のサービス領域を拡充し、運営力強化を目指す

将来的な成長の選択肢

新規出店	既存サロンとの連携	関連メニューの充実
立地・投資効率を踏まえ検討	ヘア・ネイル事業との組み合わせ	アイブロウ等、既存メニューの拡充

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

2つの戦略的セグメントによる持続的成長モデル

■ グループ経営管理を強化し、既存事業の収益改善と成長事業の利益貢献を推進

目指す成果 | **全社の利益創出力を高める**

コアバリュー
事業の進化・収益改善

和装宝飾	SNS集客力を活かした顧客接点の拡大
美 容	サービス領域の拡充と店舗運営力の強化
ライフプラス	販路拡大と採算性の向上

ニューバリュー
成長領域の拡充・利益貢献

教 育	既存事業の成長と取得会社の連結寄与
リユース	国内・訪日客需要の獲得と販路拡大
フォト	需要期の集客強化を通じた収益拡大

2つのセグメントを支える経営アプローチ

事業基盤の拡充	グループ経営管理・PMI	事業ごとの収益力向上
事業承継型M&A・事業譲受け	共通ルールと各社の特性に応じた運営	各事業の強みを活かした成長施策

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

成長の現在地と2030年への展望

Yamano Holdings

■拡充した事業基盤と成長投資の成果を、次の成長段階へつなぐ

現中計 Tsunageru2027
経営基盤のさらなる充実
テーマ「つなげる」
2025/3期 ～ 2027/3期

次の成長フェーズ
成長加速
テーマ「ひろげる」
2028/3期 ～ 2030/3期

今期上期までの進展

取得事業の収益貢献が拡大
前期取得3社の連結寄与が本格化

M&A・PMIの知見を蓄積
事業承継型M&Aと取得後の運営支援

次の成長に向けた方向性

持続的な利益成長を追求
既存事業の収益力強化と取得事業の価値向上

成長機会を見極める
事業特性・収益性を重視した投資判断

資本市場を意識した経営
収益力の強化 | 資本効率の向上
重視する指標：EBITDAマージン・ROE
» 企業価値の持続的向上へ

2030年ビジョン | 従業員が投資したくなる会社へ

※「ひろげる」は、2024年公表の中期経営計画で示された成長フェーズです。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

Yamano Holdings

目 次

I. 2027年3月期 上期総括
II. 2027年3月期 上期決算概要
III. 通期業績予想と今後の成長戦略
IV. Appendix

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

会社概要／株主の状況 （2026年9月末時点）

Yamano Holdings

会社概要

商　　号	株式会社ヤマノホールディングス
設　　立	1987年2月20日
資 本 金	10,000千円
代表者名	代表取締役社長CEO　山野　義友
本　　社	東京都渋谷区代々木1-30-7ヤマノ24ビル
株式上場	1997年11月 日本証券業協会 上場 （現 東証スタンダード市場）
従業員数	単体357名、連結566名（女性比率 約70%）
事業内容	・美容室、ネイルサロンの運営 ・和装品、宝飾品、毛皮、洋装品、寝装品、 健康関連商品の販売 ・学習塾の運営 ・古着の買取/販売、フォト事業
主要グループ会社	株式会社すずのき 株式会社マンツーマンアカデミー 東京ガイダンス株式会社 株式会社灯学舎 アークネット株式会社 株式会社OLD FLIP 株式会社ニューヨークジョーエクスチェンジ 株式会社薬師スタジオ 株式会社ヤマノセイビング

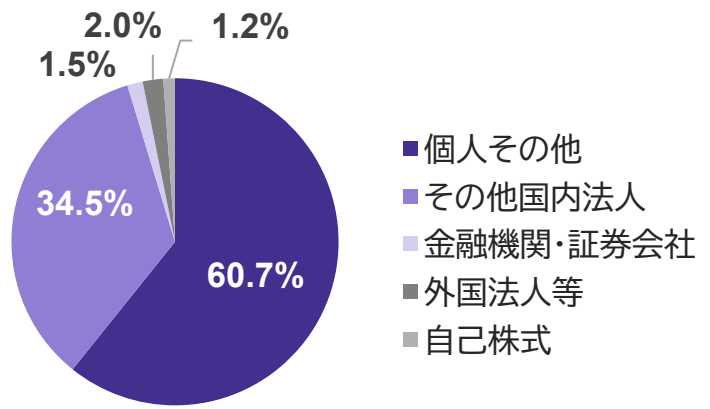
株式の状況

発行可能株式総数	88,000,000 株
発行済株式総数	35,830,058 株
株　　主　　数	7,204名

主要株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
㈱ヤマノネットワーク	4,838	13.7
山野義友	3,848	10.9
㈱ヤマノビューティメイトグループ	3,400	9.6
山野功子	2,118	6.0
山野美容商事株式会社	1,919	5.4

所有者別株式分布状況



©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

事業ポートフォリオ・グループ体制

Yamano Holdings

■ コアバリューの収益基盤に、教育・リユース・フォトの成長領域を加えた6事業体制

グループ概要

グループ拠点数	グループ会社数	従業員数(パート、アルバイト等含む)
275 拠点	9 社	1,991名

事業ポートフォリオ

ニューバリュー

中長期的に育成する成長領域

教 育	73 教室
リユース	7 店舗
フォト	5 店舗

コアバリュー

安定的な収益基盤を構成する事業群

和装宝飾	93 店舗
美 容	75 店舗(FC6店舗含む)
ライフプラス	22 拠点

事業・グループ体制

セグメント	事業	主な内容	事業会社
ニューバリュー	教 育	学習塾の運営	㈱マンツーマンアカデミー、東京ガイダンス㈱、㈱灯学舎、アークネット㈱
	リユース	古着の買取・販売	㈱OLD FLIP、㈱ニューヨークジョーエクスチェンジ
	フォト	写真スタジオの運営	㈱薬師スタジオ
コアバリュー	和装宝飾	和装品、宝飾品、毛皮等の販売	㈱ヤマノホールディングス、㈱すずのき、㈱じゃぱんはあと(※2026/10グループ入り)
	美 容	美容室、ネイルサロンの運営	㈱ヤマノホールディングス
	ライフプラス	家電、洋装品、宝飾品、健康関連商品等の販売	㈱ヤマノホールディングス、㈱ヤマノセイビング

※ 拠点数・グループ会社数・従業員数等は2026年9月末時点。2026年10月にグループ入りした㈱じゃぱんはあとを参考記載。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

主要財務指標の推移

Yamano Holdings

連結業績

（単位：百万円）

	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 2Q
売上高	13,904	13,837	13,964	14,724	7,296
EBITDA	407	220	368	593	190
EBITDAマージン（%）	2.9	1.6	2.6	4.0	2.6
営業利益	297	100	256	411	78
営業利益率（%）	2.1	0.7	1.8	2.8	1.1
親会社株主に帰属する当期純利益	173	△28	41	207	△13

財務・資本効率

（単位：百万円）

	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 2Q
ROE（%）	13.9	△2.3	3.3	14.7	–
純資産	1,331	1,223	1,327	1,492	1,426
自己資本比率（%）	14.2	14.1	16.7	17.7	17.7
現金及び預金	3,319	2,732	2,438	2,841	2,584
有利子負債	3,841	3,215	2,684	3,205	3,125

※ ROEは年度実績のみ表示
※ 有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計

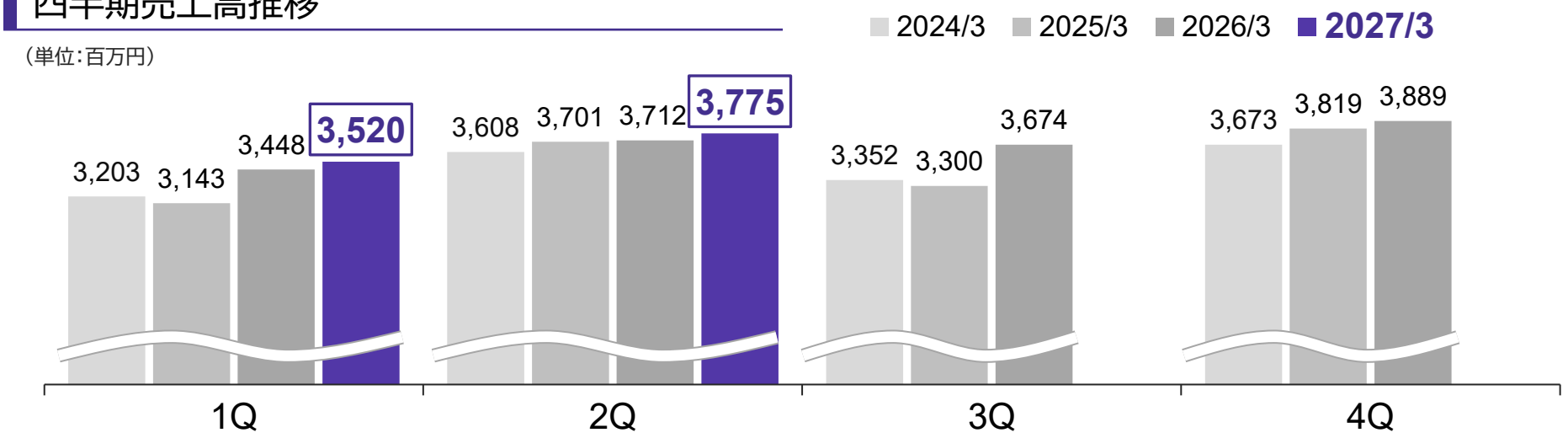
©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

四半期業績推移

Yamano Holdings

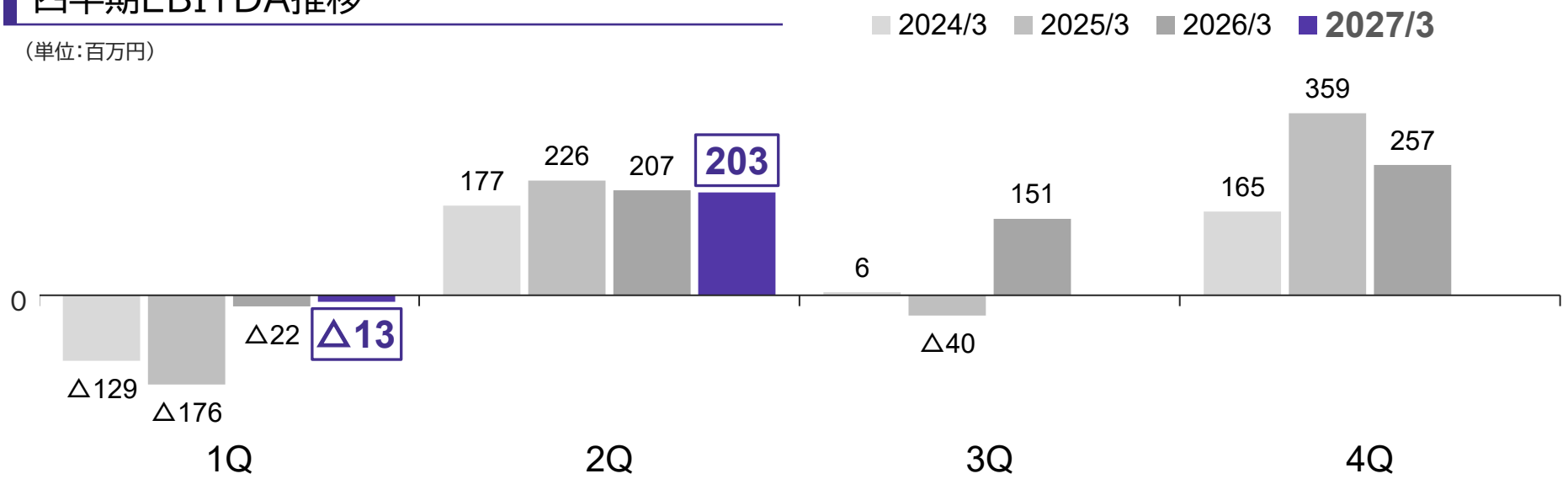
四半期売上高推移

（単位：百万円）



四半期EBITDA推移

（単位：百万円）



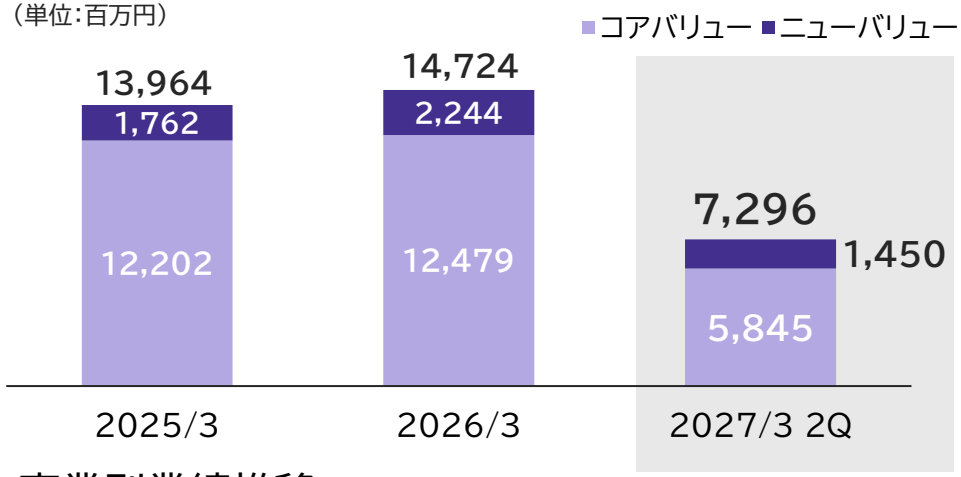
©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

セグメント・事業別推移

Yamano Holdings

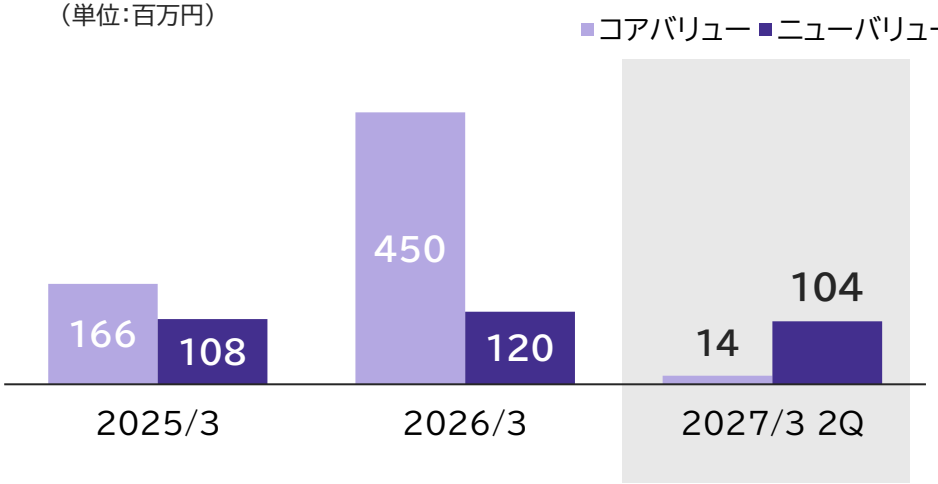
セグメント別売上高推移

（単位：百万円）



セグメント利益推移

（単位：百万円）



事業別業績推移

（単位：百万円）

		2025/3 通期		2026/3 通期		2027/3 2Q	
セグメント	事業	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
ニューバリュー	教 育	1,453	128	1,462	83	964	78
	リユース	309	△14	647	34	426	36
	フォト	–	–	133	3	59	△10
	合計	1,762	108	2,244	120	1,450	104
コアバリュー	和装宝飾	9,582	181	9,753	404	4,371	3
	美 容	1,776	25	1,741	48	832	8
	ライフプラス	834	△31	975	3	636	6
	その他	9	△8	8	△5	4	△4
	合計	12,202	166	12,479	450	5,845	14
セグメント・事業合計		13,964	274	14,724	571	7,296	119

※端数処理により内訳と合計に差異あり。合計は本社費用・のれん償却費等を除く。

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

沿革・戦略的成長ステップ

Yamano Holdings

事業変革の5ステージ

1	2	3	4	5
中核事業の基盤形成	M&Aによる多角化・規模拡大	第2創業1st・2nd Stage/事業再編・経営基盤の強化	第2創業3rd Stage/M&A再加速	Tsunageru 2027開始/事業ポートフォリオ再定義・最適化推進
和装・美容を軸とした収益基盤を確立	M&Aを積極化し、新事業領域を推進	非中核事業の整理・財務体質改善を推進	教育・リユースなど新成長分野へ展開	コアバリュー、ニューバリューを軸に事業ポートフォリオ経営を推進
1994～2000年	2001～2007年	2008～2018年	2019～2023年	2024～現在

2000年以降の主な経営上の転換点

時期	主な転換点
2001～2007年	和装・宝飾・美容・アパレルなどへのM&A、事業譲受を積極化し、グループ経営を拡大
2008～2009年	第2創業を掲げ、グループ再編・統合を推進。2009年にグループ8社を吸収合併し、事業本部体制へ移行
2015～2017年	和装領域を拡充する一方、非中核事業の見直しを進め、事業ポートフォリオの再構築と財務体質改善を推進
2019～2023年	美容事業を再編するとともに、教育・リユース分野などのM&Aを推進し、成長領域の拡充を本格化
2024年～	中期経営計画「Tsunageru 2027」を開始。安定収益基盤と成長領域の二軸戦略により、持続的な成長へ

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

企業理念／ミッション／ビジョン

【当社グループの価値創造の軸】

生活に寄り添う価値を起点に、持続的な企業価値向上を目指す

企業理念

美道五原則（髪・顔・装い・精神美・健康美）

心身の健康が外見の美しさを育み、外見の美しさが心身の穏やかさをもたらす。
創業者・山野愛子が生涯をかけて提唱した「美道五原則」は、五つの要素が
内面と外見の双方で調和し、人間本来の美しさを形づくるという理念です。

MISSION

『豊かさと彩りあるライフスタイルを創造し続けます』

VISION 2030

『従業員が投資したくなる会社へ』

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved

ディスクレーマー

本資料は、当社の業績概要、ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ
経営企画部
Tel: 03-6743-9377
Mail: ir@yhc-net.com

©2026 Yamano Holdings. All Rights Reserved